

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2023年12月 第64号

発行：今泉愛子

編集：田中英司 嵯峨崎のぞみ 米谷紗央里

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

Les Clefs d'Or Japan 26th Anniversary Dinner

文：田中 英司

恒例のアニバーサリーディナーを今年
は12月13日にコンシェルジュメンバ
ーとアフィリエイトメンバー総勢26名
が集い、GINZA KAZANにて開催され
ました。

冒頭GINZA KAZANの運営会社である、
株式会社Gコンセプトの橋本邦昭様よ
りご挨拶と乾杯のご発声を頂きました。
レ・クレドールジャパンのアフィリエ
イトとして20年ほどお世話になってお
ります株式会社Gコンセプトは今年で
創業26周年。GINZA KAZANは開業よ
り22年目となり、一切お肉を使用しな
いシーフードのみのレストランで、ベ
ジタリアンのご対応も頂けます。姉妹
店である江戸前寿司の鰯門のご紹介も
頂き、乾杯となりました。



食事中は、普段なかなか顔を合わすこと
のできない全国から集まったメンバー同
士、アフィリエイトメンバー様との話に
花が咲き、より深いネットワークを築き
上げました。

2023年のアニバーサリーディナーは、
大盛況の内に幕が下ろされ、全国へ向け
メンバーはそれぞれの帰途につきました。

お料理はコース料理で全9品。エビ、
寒鰯、オマール海老、アワビ、タラバ
ガニなど、贅沢なシーフードをふんだ
んに取り入れた素晴らしいお料理を皆
で存分に堪能しました。



Forbes Travel Guide's A Celebration of 2023 – Asia Pacific Star Award Winners



パレスホテル東京の壮麗な宴会場で行われた昼食会は、フォーブス・トラベルガイドのアマンダ・フレイシャー氏の挨拶で幕を開け、現在の旅行者のトレンドやニーズ、今後のフォーブス・トラベルガイドの方向性について共有されました。その後、夕方からはカクテル・レセプションが開催され、各ホテルの総支配人や経営陣、旅行代理店、業界関係者らが出席し交流を深める貴重な時間となりました。



このイベントは、アジアにおけるフォーブス・トラベルガイドの初めての大きなイベントであり、キーパーソンと出会い、交流や意見交換を行う素晴らしい機会となりました。

文：今泉 愛子

11月9日、パレスホテル東京にてフォーブス・トラベルガイド主催のイベント「A Celebration of 2023 - Asia Pacific Star Award Winners」が開催され、レ・クレドールSoutheast Asia & Oceaniaのゾーンディレクターである住吉真矢子、レ・クレドール ジャパン プレジデントの今泉愛子が出席いたしました。



広島視察 西条

文：米谷 紗央里

“吟醸酒のふるさと 西条へのたび”と題し、日本三大酒どころの西条にある酒蔵を見学しました。

広島駅から約35分JR山陽本線に乗り西条駅を降りると、すぐに7軒もの蔵元が密集する酒蔵通りが現れ、そのうちの賀茂鶴、白牡丹、西条鶴の3軒を見学しました。赤レンガの煙突、由緒ある白壁、仕込み水の井戸など、歩いて回れるコンパクトな街並みのあちらこちらから日本酒造りを肌で感じることができます。

1873年より続く賀茂鶴は西条でもトップクラスの規模を誇る酒造会社で、今年G7広島サミットのワーキングディナで賀茂鶴の「純米大吟醸広島錦」が振る舞われたことでも話題になりました。そんな賀茂鶴の酒蔵ツアーで実際に日本酒が造られる過程を見学（事前相談要）をし、賀茂鶴の歴史と日本酒造りの繊細さを感じてきました。併設するレストランではペアリング体験もでき、それぞれの日本酒と食事の味わいに合わせて楽しみ、またお酒の温度による味の変化も体感しました。

次に訪れた白牡丹は、350年以上の歴史を誇る西条で最も古い蔵元です。棟方志功、夏目漱石など名だたる作家や芸術家に愛された酒造で、白牡丹の酒名は棟方志功が鑿で掘った彫刻文字が使われており、酒蔵に隣接する店内には、お酒のラベルにも使われている白牡丹のために作られた版画が飾られています。伝統ある蔵元ですが、辛みと香りが強く美味しいと人気が高まっている神石高原しょうがを使った日本酒リキュールや、無ろ過原酒を急速凍結したものなど、新しく様々な気になるお酒も造っておられます。急速凍結されたお酒は、発酵が止まる前に凍結されることで、蔵内だけでしたか味わえなかった発酵の発泡感を感じるユニークなお酒でした。



西条では唯一の母屋と一緒にある小さい酒蔵である、西条鶴を最後に訪れました。2016年に国の登録有形文化財に指定され、創業時より使い続ける蔵や主屋には、至る所に当時を思わせるものが残っており、どこか家に帰ってきたような温かみのあるなかで、広島風土、食材との相性など広島の味わいを大切にお酒造りをされています。事前の相談が必要ですが、酒蔵見学も杜氏と社長伊野本ご夫妻自ら蔵をご案内してください、社長は英語が堪能で、海外ゲストも対応可能です。最後に、東広島視察にご協力頂きまして皆様、心より感謝申し上げます。



Getting to know our members!

パレスホテル東京
チーフコンシェルジュ
住吉 真矢子

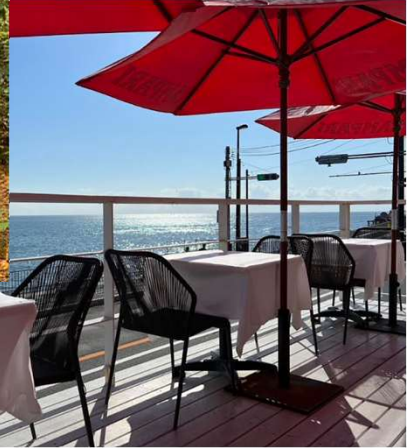
コンシェルジュ歴 25年位
レ・クレドール歴 22年

ホテルのハイライト

都心にありながら豊かな自然に囲まれたパレスホテル東京は、前身の「パレスホテル」として1961年に開業し、2012年5月17日に新生「パレスホテル東京」としてグランドオープン。「美しい国の、美しい一日がある。」をブランドコンセプトに、丸の内1-1-1に位置するホテルならではの「最上質の日本」をお客様に提供していくことを目指しています。Forbes Travel Guideホテル部門にて日系ホテルとして初めて5つ星を獲得し、2016年以降8年連続で維持しています。

休日の過ごし方

地元の鎌倉で過ごす場合は、鎌倉の街中を散歩しながら新しいスポットを発見し、寺社仏閣を巡り季節のお花を楽しみ、海辺をドライブして過ごすこともあります。また、連休が取れるときには家族と国内旅行に行き、リフレッシュしています。各地の「道の駅」訪問は旅の楽しみです。最近では休日に都内のレストランで食事をしたり、東京観光財団の皆様と東京のコンテンツ開発などで出掛けることも多いです。東京酒造巡り、西東京でのアウトドア体験、アニメコンテンツ、日本の食材を使った料理体験など様々なコンテンツ開発に関わり新たな発見をしております。



とっておきの場所

衣張山の頂上から太平洋富士山を望む景色。衣張山は標高121m、鎌倉市内にある山ですが、由来は『新編相模国風土記稿』によれば、「衣掛山といい、昔ここに庵があり、尼僧が松の木へ衣を掛け晒した」という説と、夏の日に源頼朝が妻の北条政子の望みで、この山に白衣を張って、雪の降った景色を見せたという説がありますが、定かではないようです。特に冬のサンセットのタイミングで山頂に行き、夕陽の中で太平洋、富士山を望むのは最高です。

一番好きなレストラン

タベルナ ロンディーノ。鎌倉、稲村ヶ崎の海沿いに1980年創業のカジュアルなイタリアンレストラン。子供の頃から通っているレストランで、海外のレ・クレドールメンバーもお連れしたこともあります。最近、テラス席も広がり晴れた日はテラス席で輝く海を見ながら、ガラスケースの中から選択できる数々の前菜や私の好物で名物のイカ墨スパゲティー、またその日のお勧め料理を楽しく、美味しく提供してくれる地元のレストランです。リラックスしたい時に行きたくなるレストランです。

定例会

11月の定例会は、ホテルグランヴィア広島にて開催されました。

11月9日にパレスホテル東京にて開催されたForbes Travel Guide “A Celebration of 2023 Asia-Pacific Star Award Winners”に、メンバーの今泉氏と住吉氏とが参加し、最新のForbesの評価基準や市場のトレンドの共有や業界関係者とのネットワーキングが行われました。

11月15日にブルガリホテル東京にて開催されたザ・リョカンコレクション ネットワーキングディナーに、メンバーの住吉氏が参加しました。30施設に及ぶリョカンコレクションの皆様よりそれぞれのご紹介を頂き、ネットワークを深めました。

レ・クレドール フィリピンの30周年アニバーサリーイベントがボラカイ島で開催され、SEAOのZone Directorである住吉氏が参加しました。町中に歓迎のバナーが掲げられ、モーベンピックホテルのプライベートビーチでウェルカムディナーが振る舞われました。ボラカイ島はコロナ直前に一切観光客を入れず、島の清掃や整備を経て、コロナ禍においても引き続き開発作業を続けて、観光客を受け入れる準備がされた様です。

アンディー・ポンゴ氏が創立したフィリピンのレ・クレドールは、今年30周年。アニバーサリーイベントに参加されたポンゴ氏のご子息は医師としてCSR活動に積極的に参加され、ボランティアでの診察を続けています。一連の催しについては、フィリピンで一番大きな新聞に掲載されました。フィリピンのレ・クレドールと、それを支えるローカルメンバーの緊密な関係性を目の当たりにし、レ・クレドール日本の活動への学びと刺激となりました。

12月の定例会は、東京都内の東京交通会館にて開催されました。

11月19日にオンラインで行われたSEAOゾーンプレジデントミーティングが行われ、9月に開催されたアジアングレスの報告、2024年4月にインドネシア・バリ島にて開催されるインターナショナルングレスの状況報告や、10月に開催されたレ・クレドールフィリピンの総会及び30周年の内容共有がされた旨、メンバーに報告がありました。

レ・クレドール インターナショナルのCSR活動の一環として行われている植樹についてレ・クレドール ジャパンとして今後の予定と方向性の報告がありました。またコミッティから2025年度のセミナー及び活動に関して提案と協議を行いました。その他、国内のCSR活動としてNPO法人キッズドアにてキャリアや英会話を中心にお話会を続けていくこと、そして今後はアフィリエイトメンバーにもテーマを設けてご参加頂く様呼びかけがありました。

